



HCL Volt MX

Iris のローコード機能を使用して Foundry Integration サービスを 呼び出す

Student Guide



HCL Software Academy for HCL Digital Solutions

Creating a new generation of experts

もくじ

Iris のローコード機能を使用して Foundry Integration サービスを呼び出す	3
前提条件	3
Iris のローコード機能を使用して、Iris アプリから Foundry Integration サービスを呼び出すための手順	3

Iris のローコード機能を使用して Foundry Integration サービスを呼び出す

このレッスンでは、Iris のローコード機能を使用して、Iris アプリから Foundry Integration サービスを呼び出す手順を紹介します。

このドキュメントでは、このレッスンのハンズオン部分の詳細な手順について説明します。

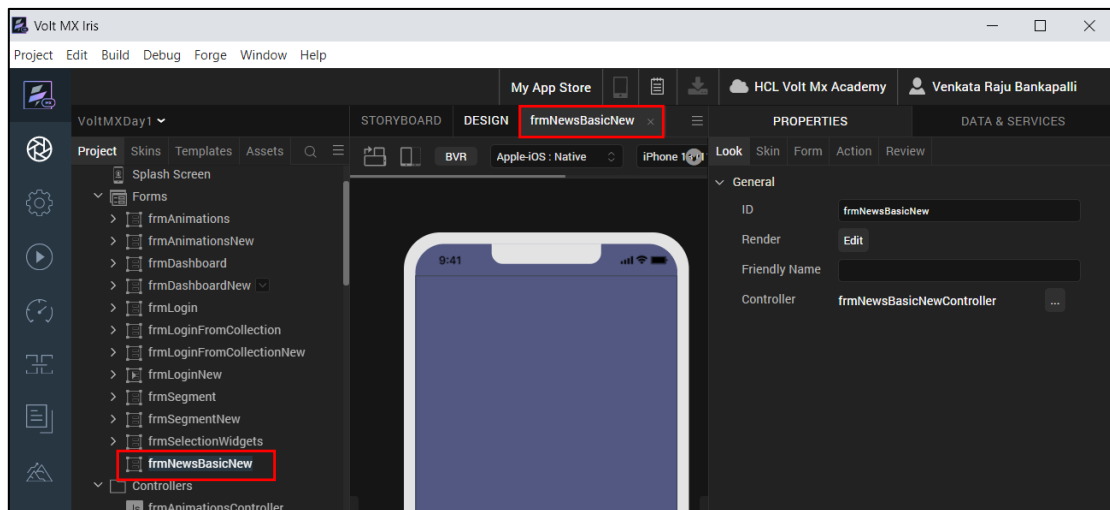
前提条件

- 前のレッスンのハンズオンステップを完了していること。

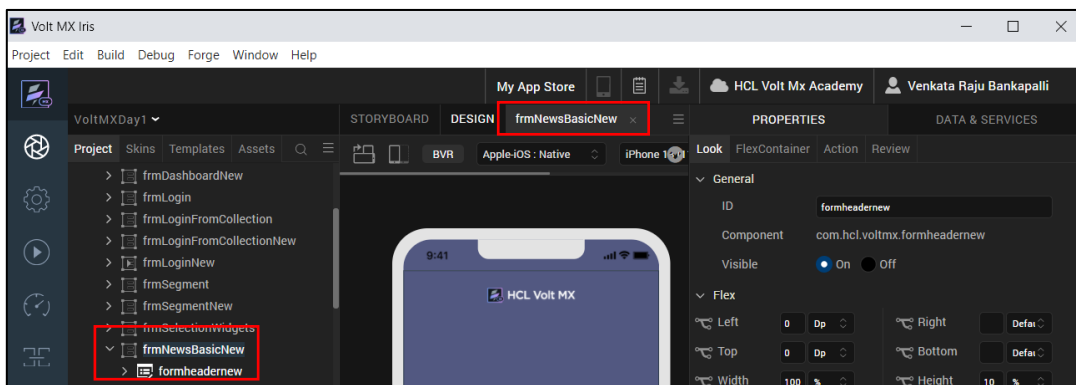
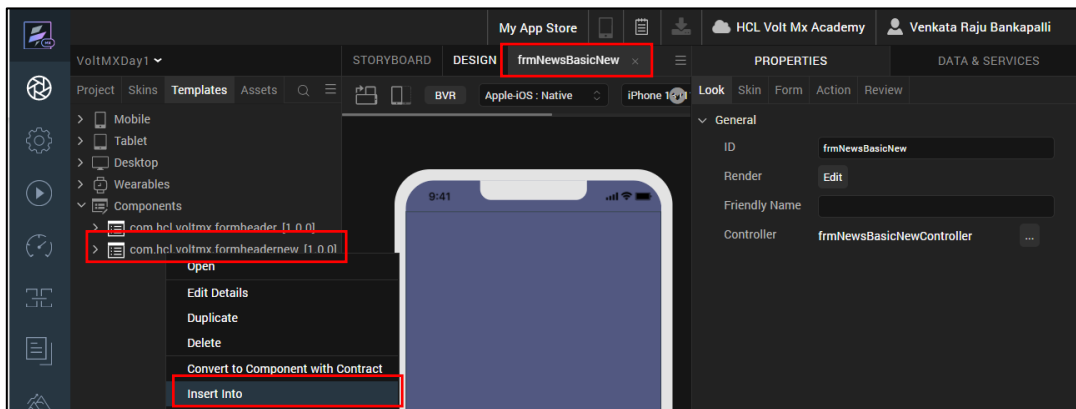
Iris のローコード機能を使用して、Iris アプリから Foundry Integration サービスを呼び出すための手順

注意事項

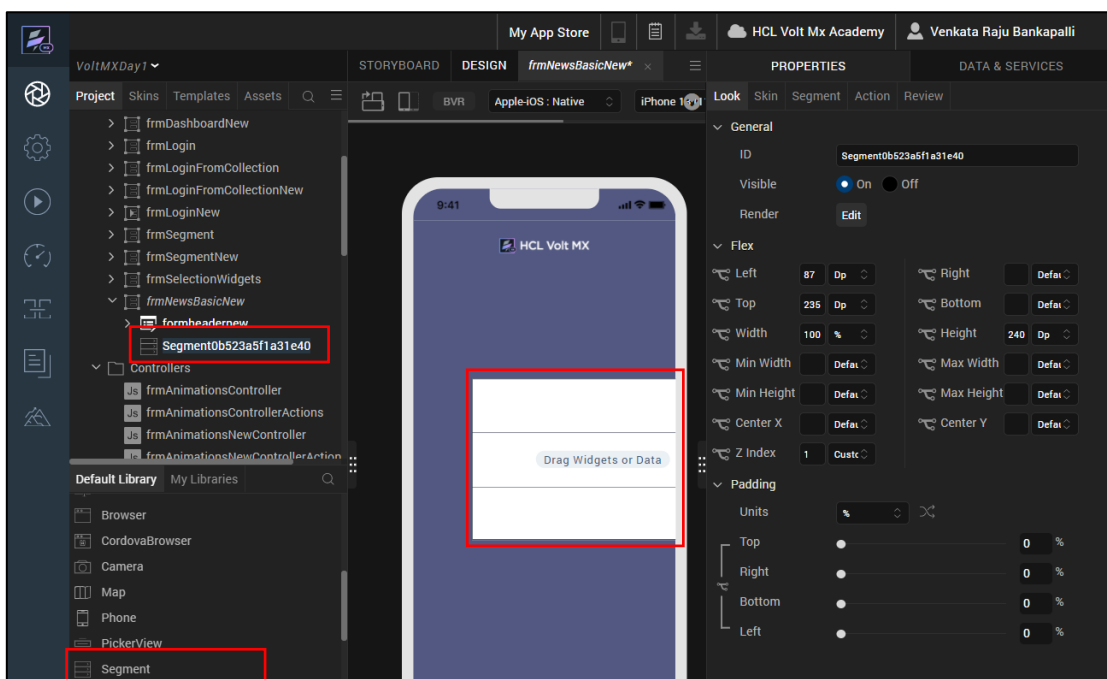
- 前のレッスンで作業していた Iris プロジェクトで、以下に説明するステップを引き続き実行します。
- Iris を起動します。
- アウトラインの **Mobile** チャンネルの下に新しいフォーム **frmNewsBasicNew** を作成します。
- フォーム **frmNewsBasicNew** に **formheadernew** コンポーネントを追加します。
- フォーム **frmNewsBasicNew** を開きます。

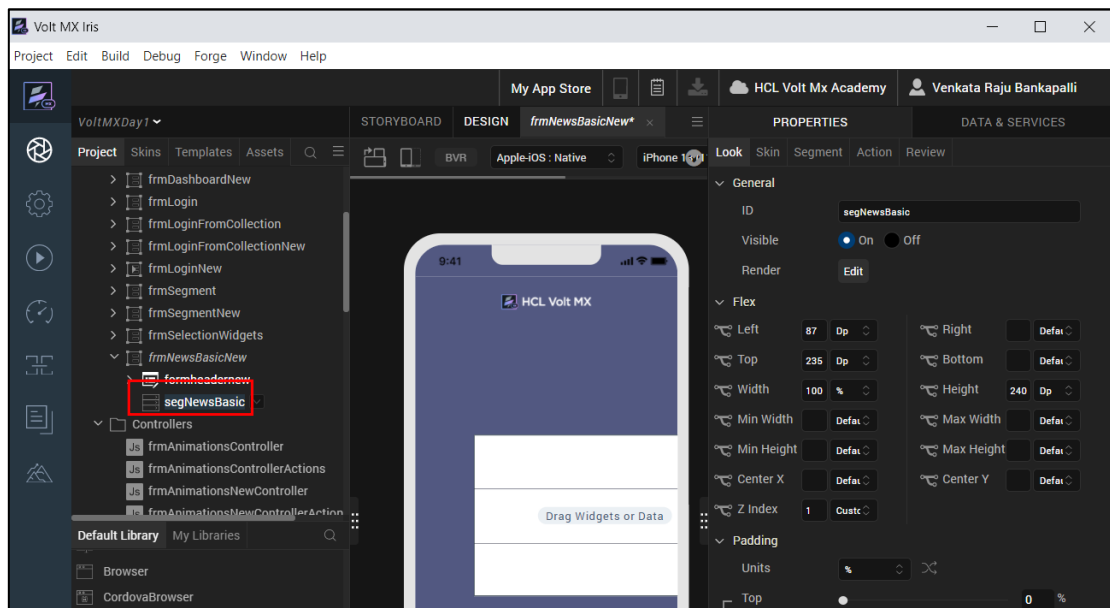


- **Templates > Components** で、**com.hcl.voltmx.formheadernew** を右クリックし、**Insert into** を選択します。
- **frmNewsBasicNew** フォームのアウトラインを確認し、フォームにヘッダーコンポーネントが表示されているかどうかを確認します。

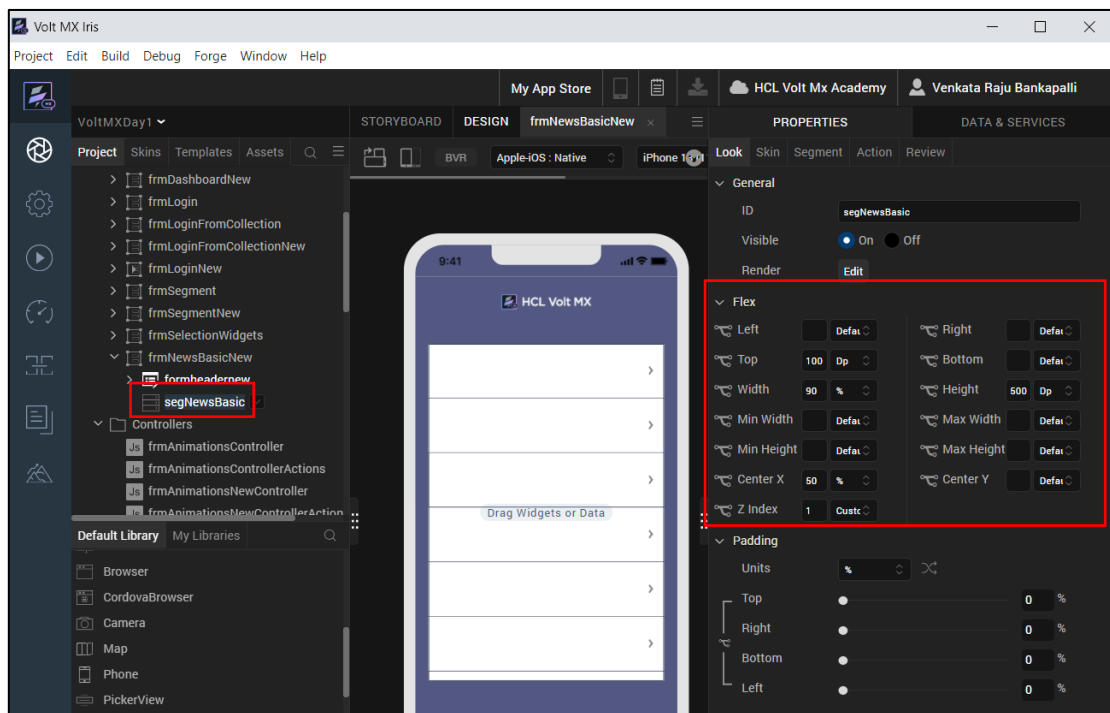


- **Segment** をその中にドラッグします。
- セグメントを **segNewsBasic** にリネームします。

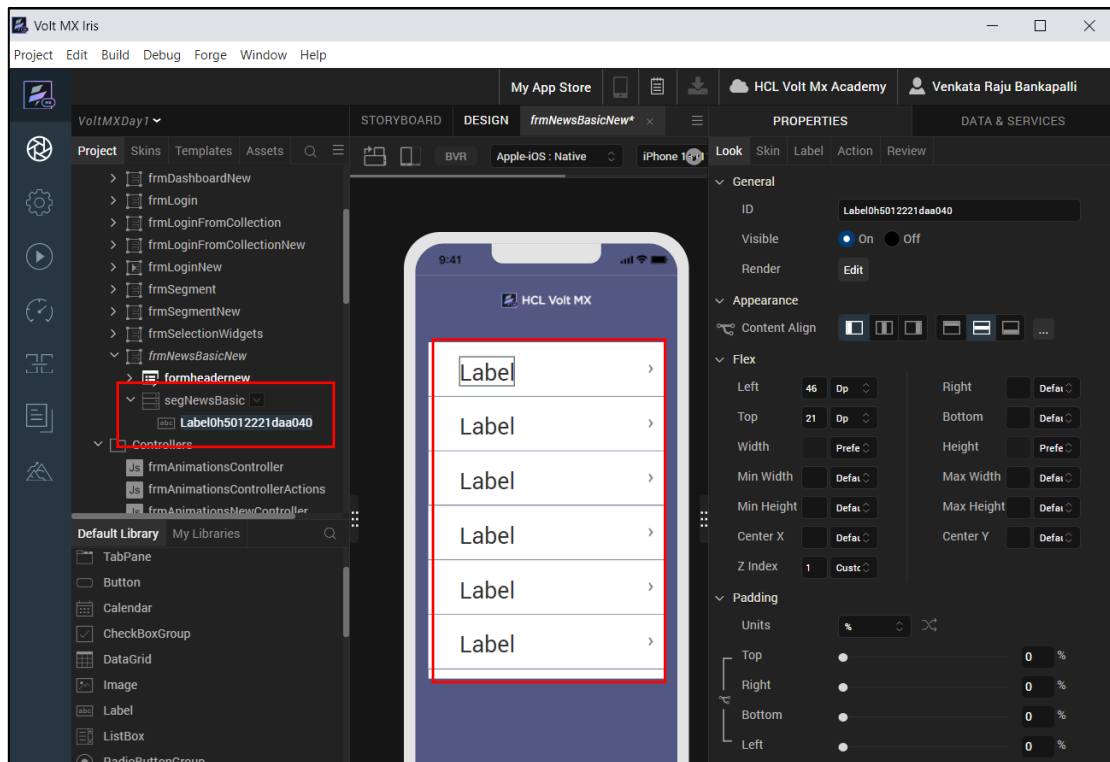




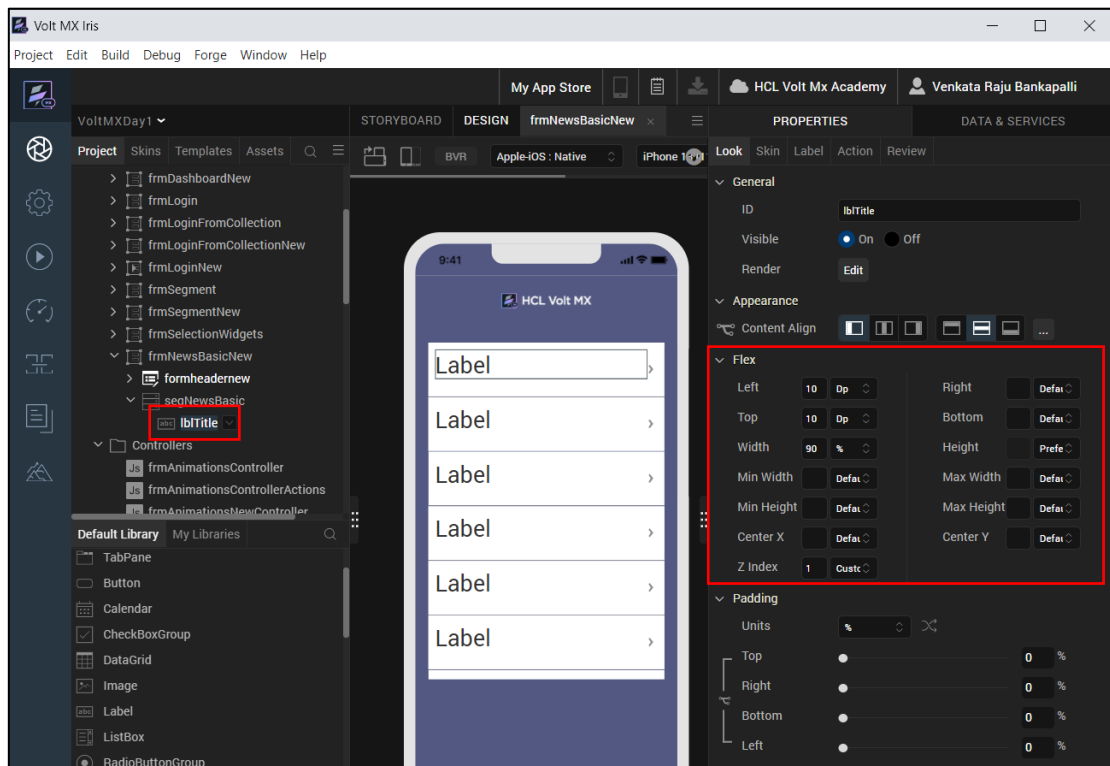
- **segNewsBasic** の **Look** タブのプロパティを変更します。
 - **Width 90%, Height 500dp, Center X 50%, Top 100dp**
 - **Left** の値を削除



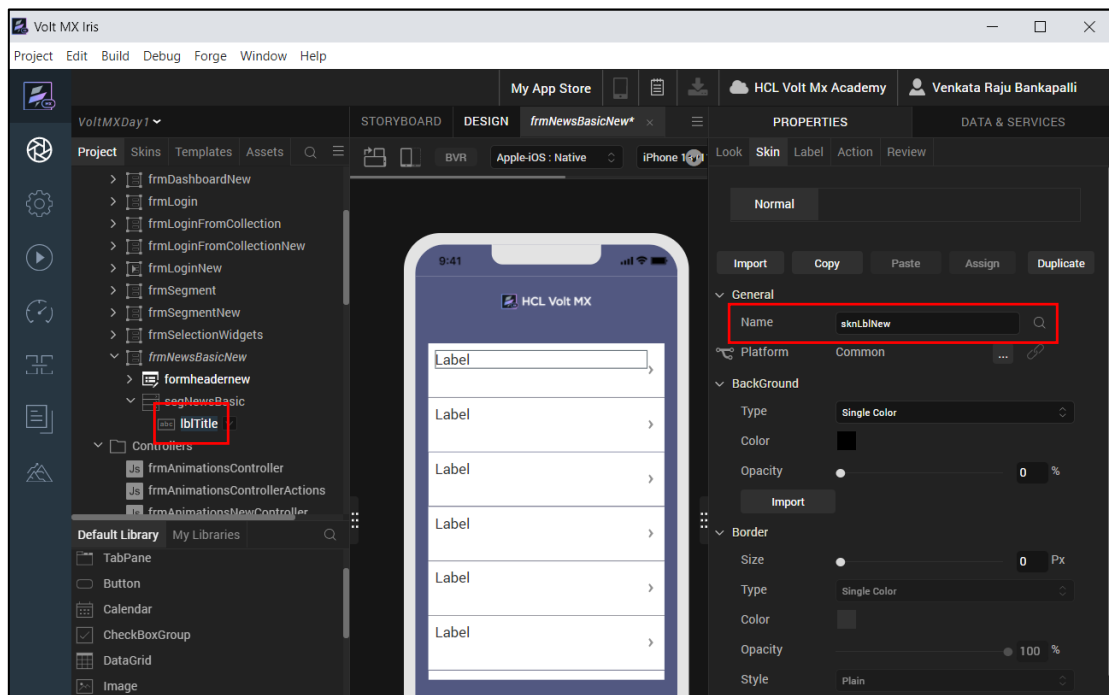
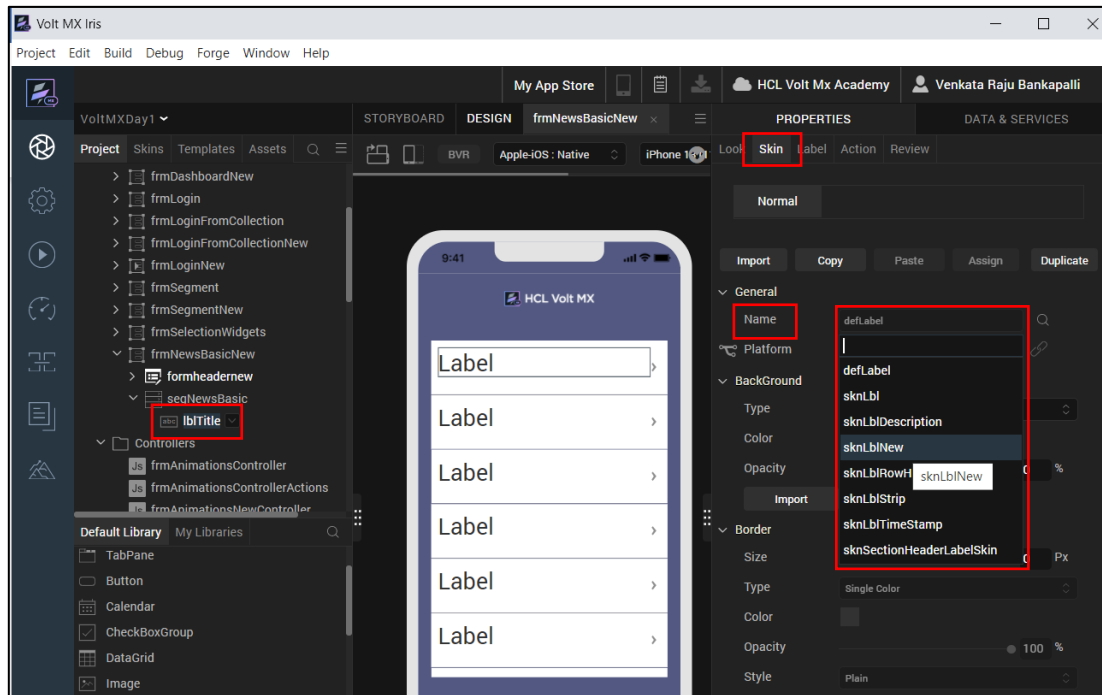
- この **segNewsBasic** に **Label** をドラッグします。
- アウトラインをチェックして、ラベルがセグメントの一部であることを確認します。



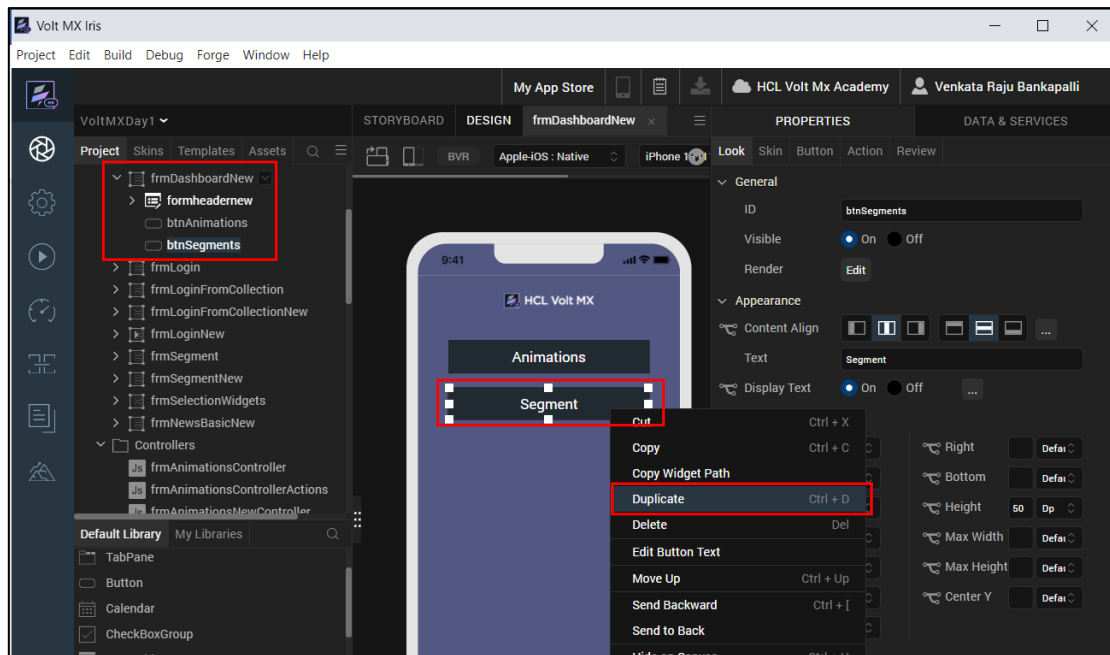
- ラベルの名前を **lblTitle** に変更します。
- lblTitle** の **Look** タブのプロパティを変更します。
 - Width 90%, Height Preferred, Left 10dp, Top 10dp



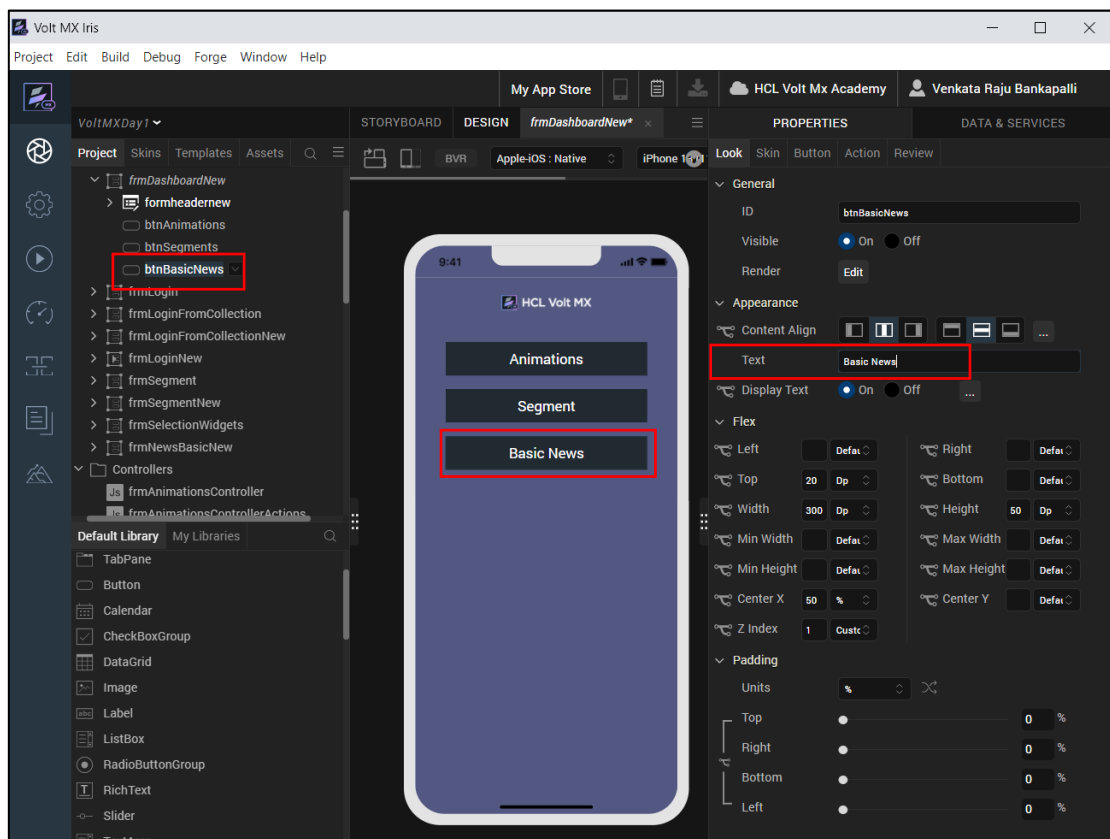
- スキン **sknLblNew** をこのラベルに割り当てます。



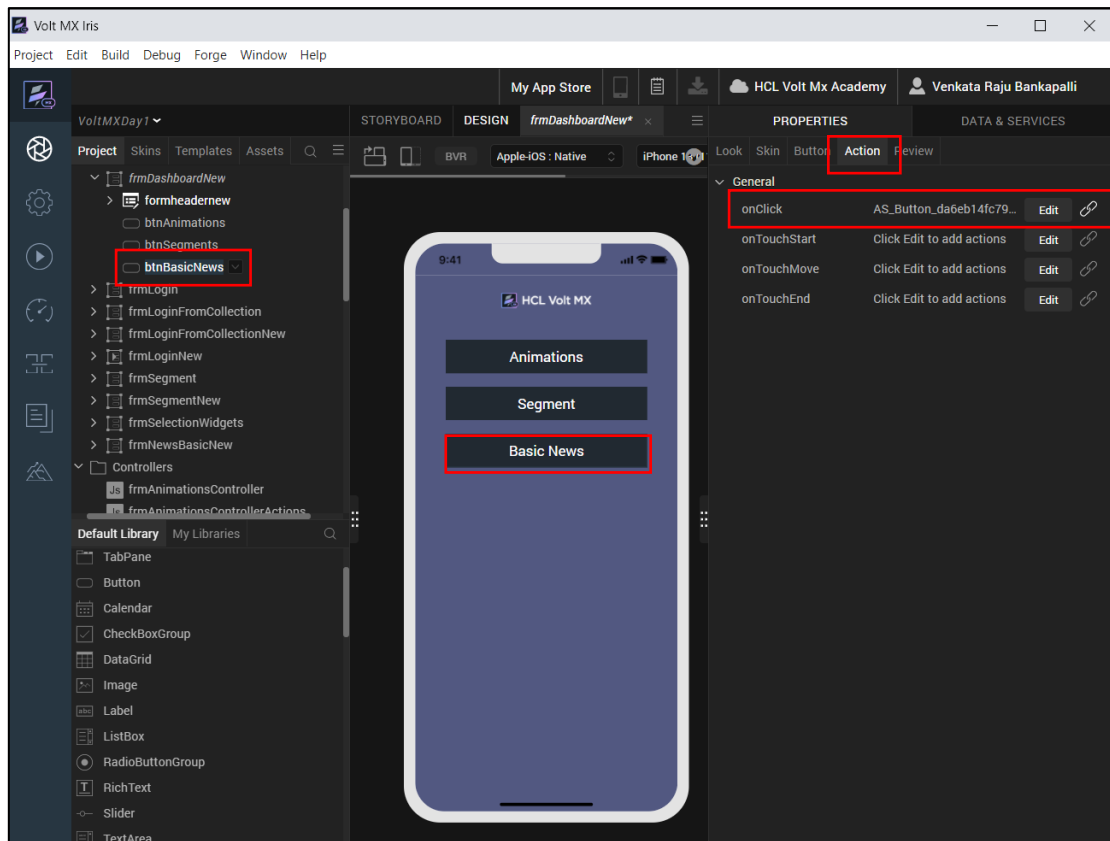
- **frmDashboardNew** フォームを選択し、開きます。
- **btnSegments** ボタンを右クリックし、**Duplicate** を選択します。



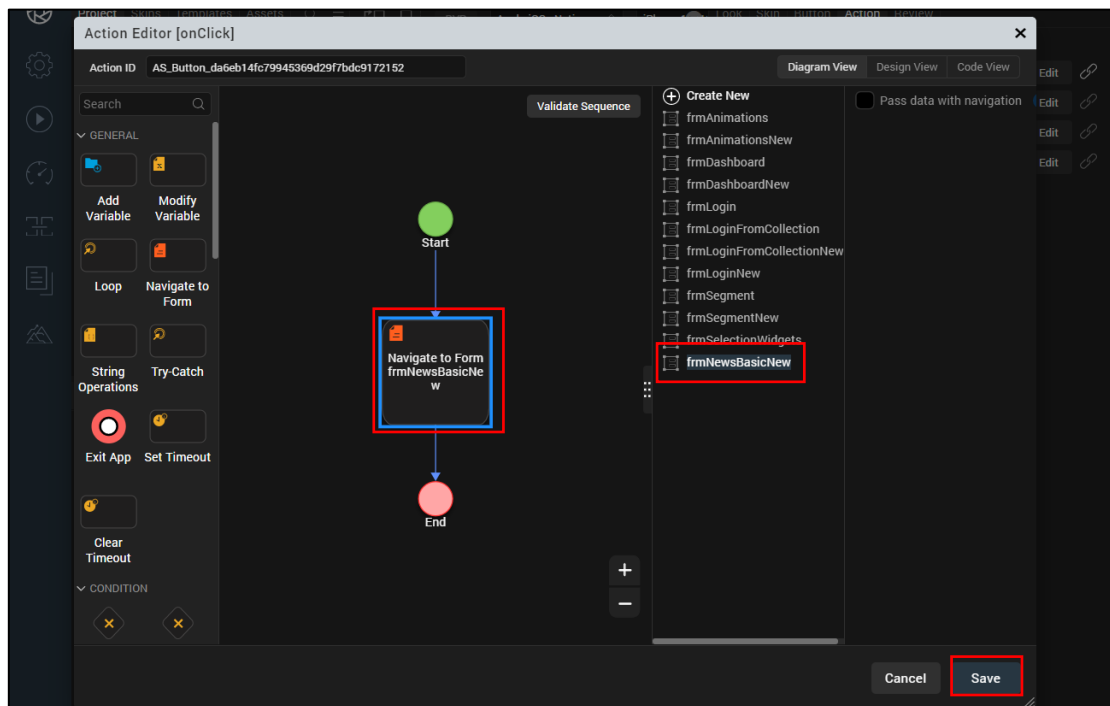
- ボタンの名前を **btnBasicNews** に変更します。
- **Text** プロパティの値を **Basic News** に変更します。



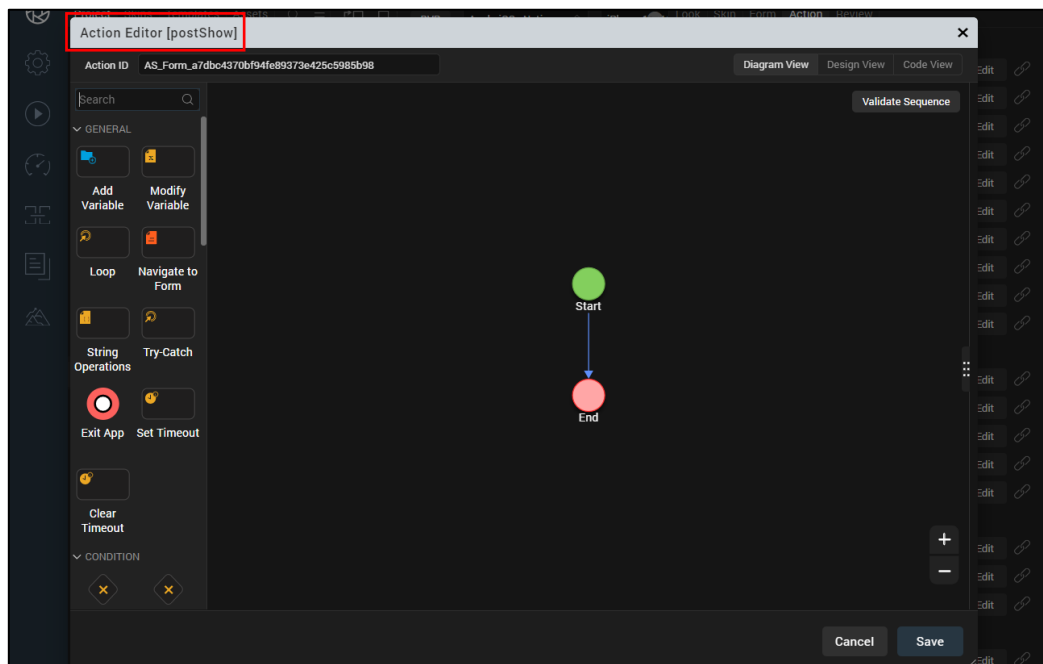
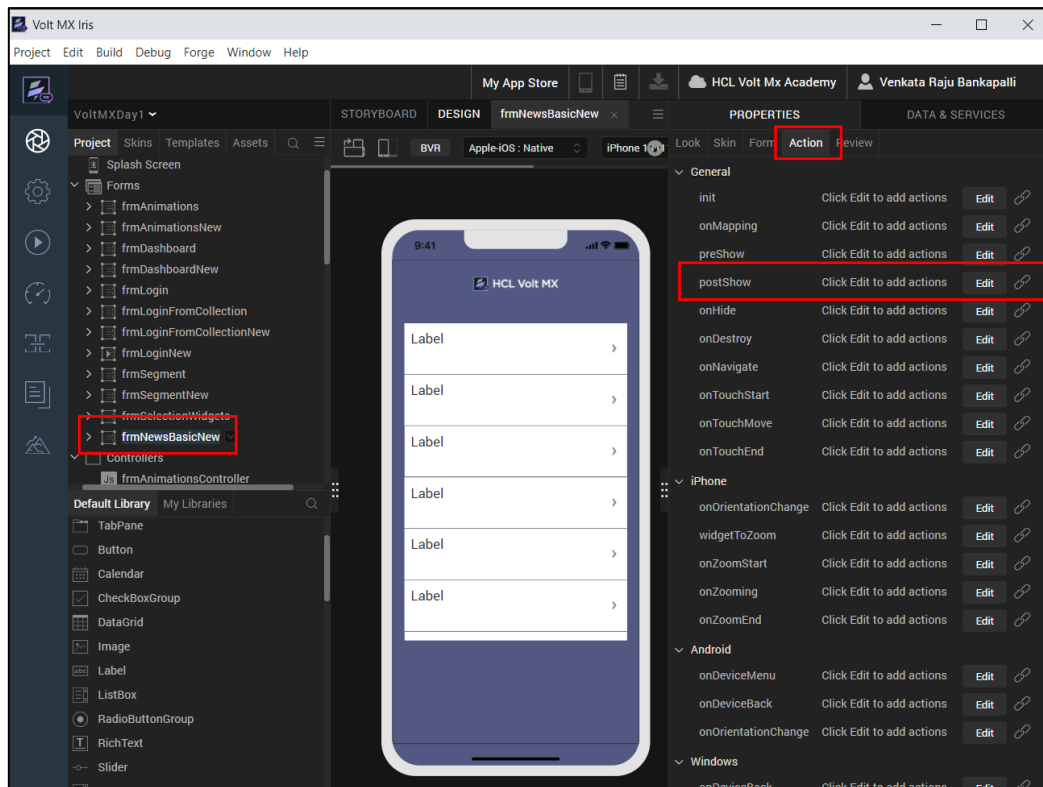
- プロパティの **Action > onClick > Edit** で、このボタンの onClick イベントを編集します。
- Action エディタで、既存の **Navigate to Form** アクションを選択します。



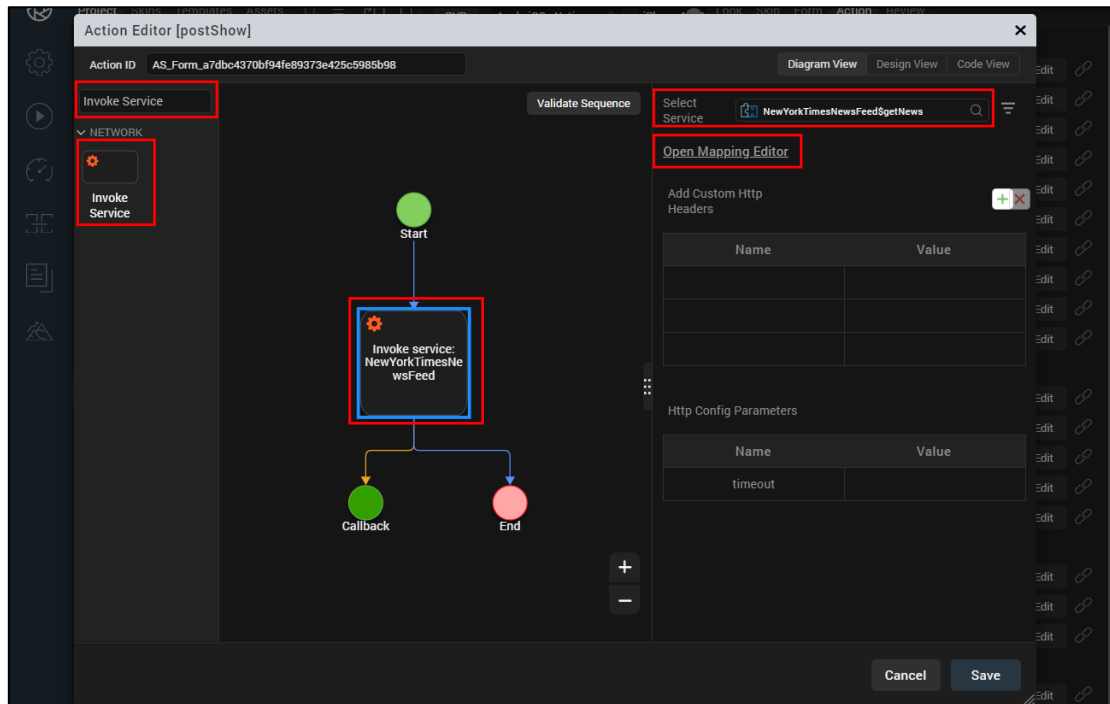
- フォームのリストから、**frmNewsBasicNew** フォームを選択します。
- Save** をクリックし、アクションを保存します。



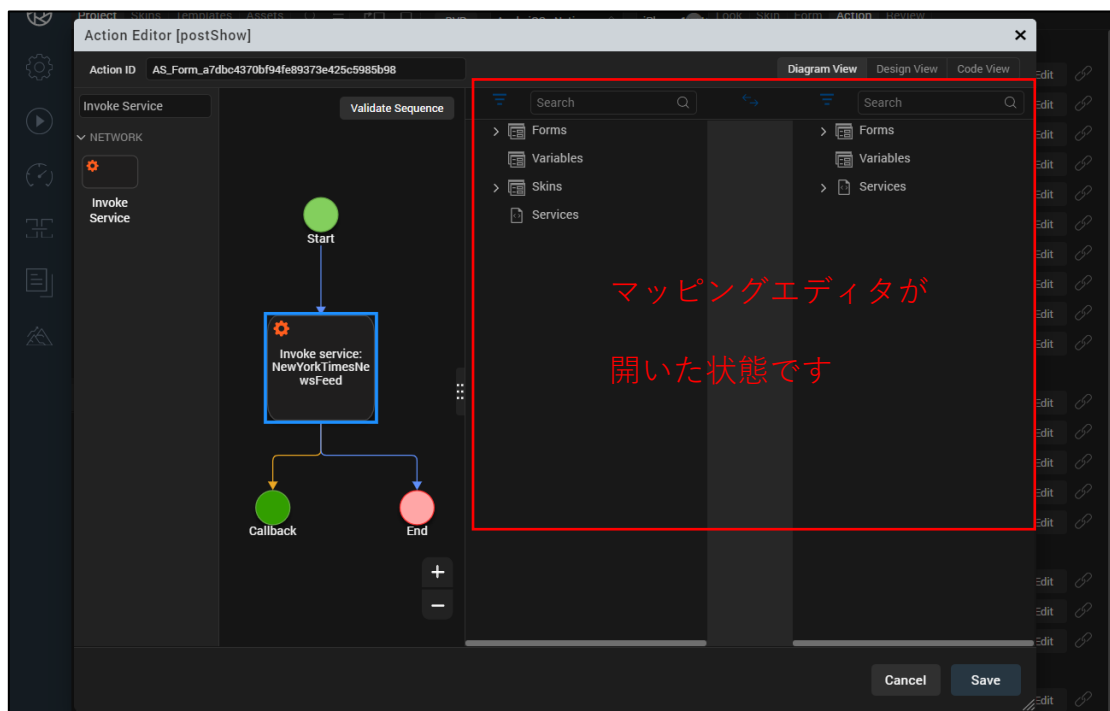
- **frmNewsBasicNew** フォームを選択し、開きます。
- プロパティの **Action > postShow > Edit** で、 postShow イベントをこのフォームに設定します。



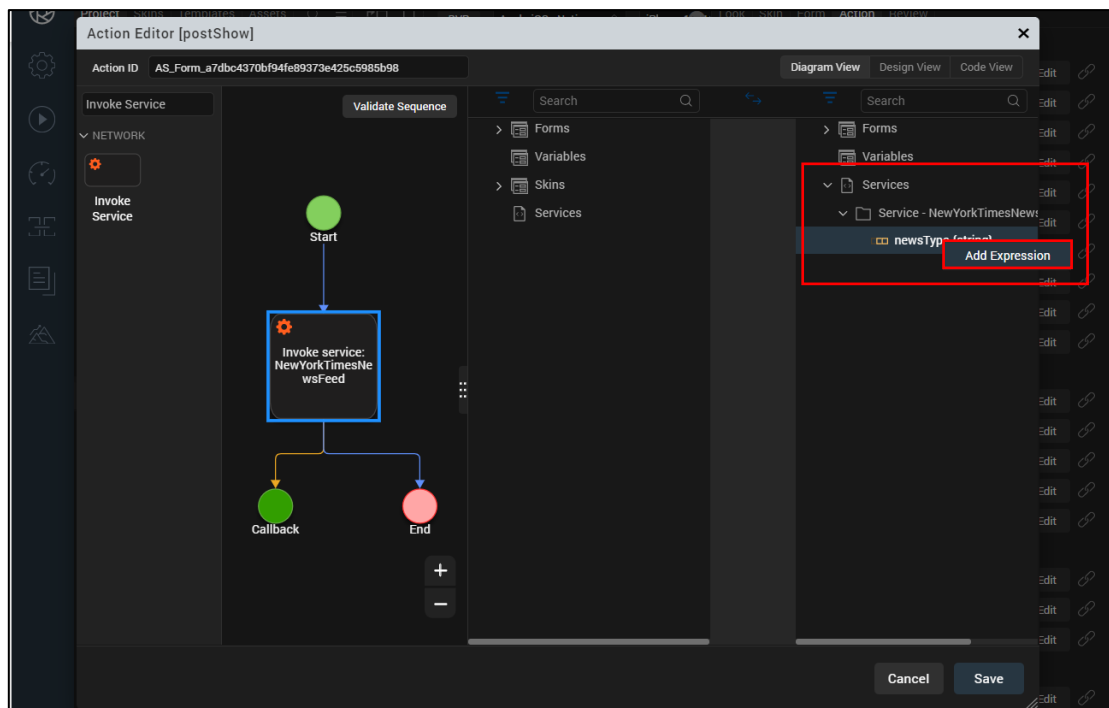
- Action エディタ で **Invoke Service** アクションを検索し、このアクションを選択します。
- アクションシーケンスにアクションが追加されたら、右側で Integration サービス名 **NewYorkTimesNewsFeed\$getNews** を選択します。



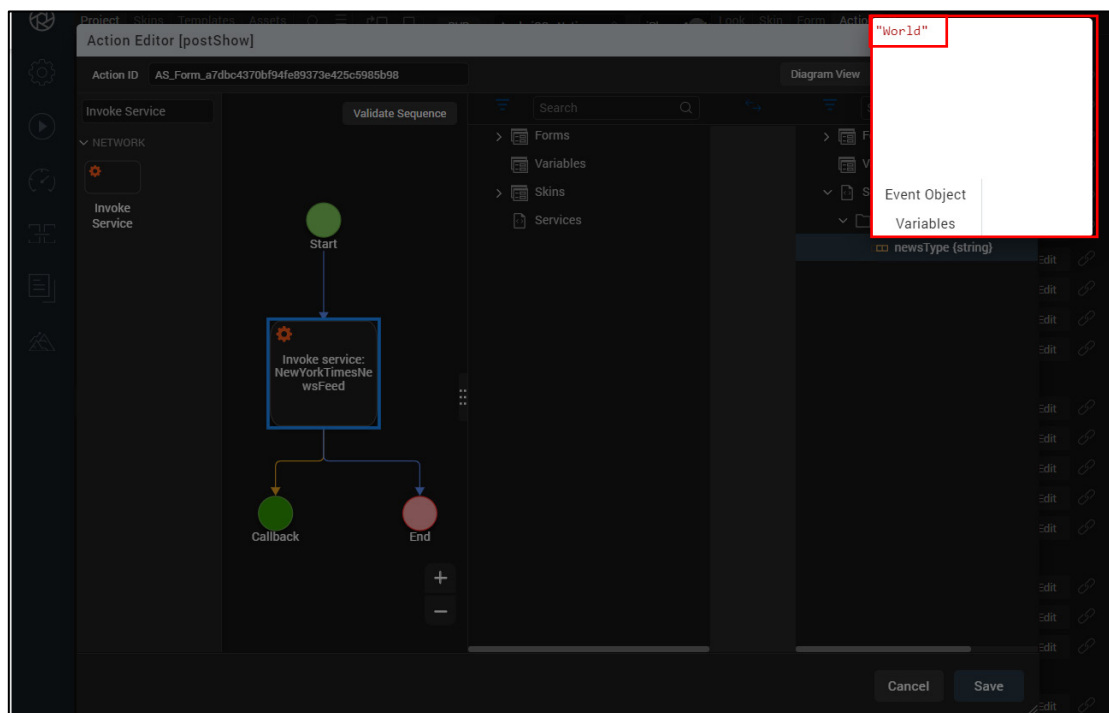
- **Open Mapping Editor** をクリックします。

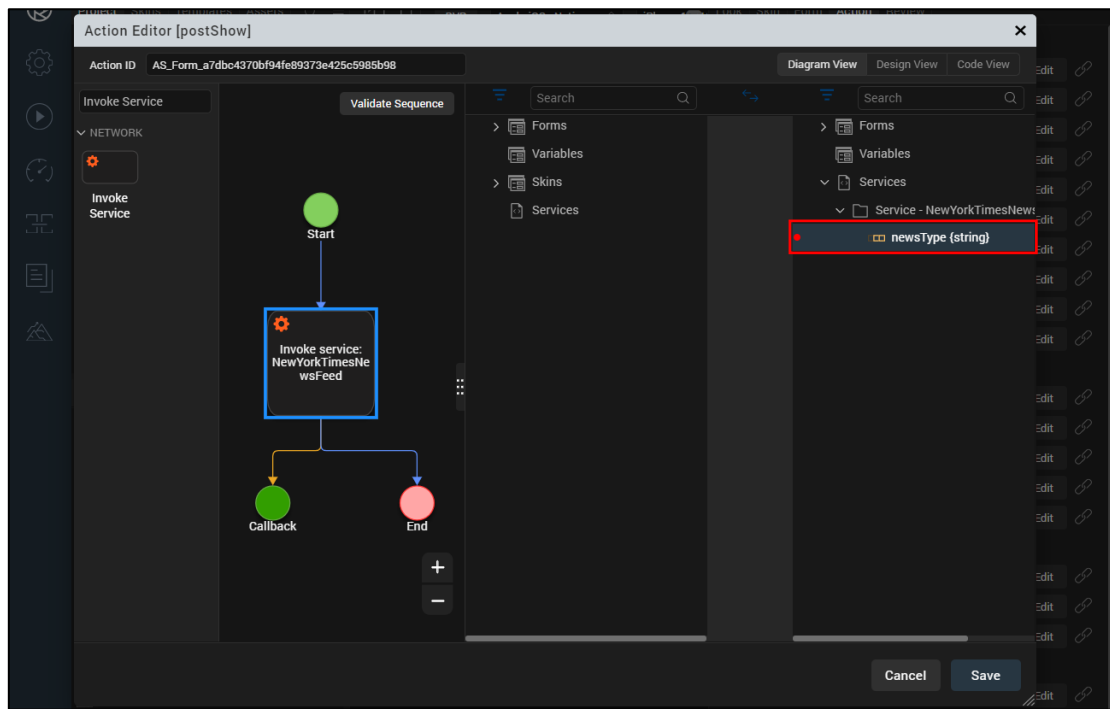


- マッピングエディタの右側で、**Services > Service > NewYorkTimesNewsFeed\$getNews** を展開し、**newsType** を右クリックし、**Add Expression** をクリックします。

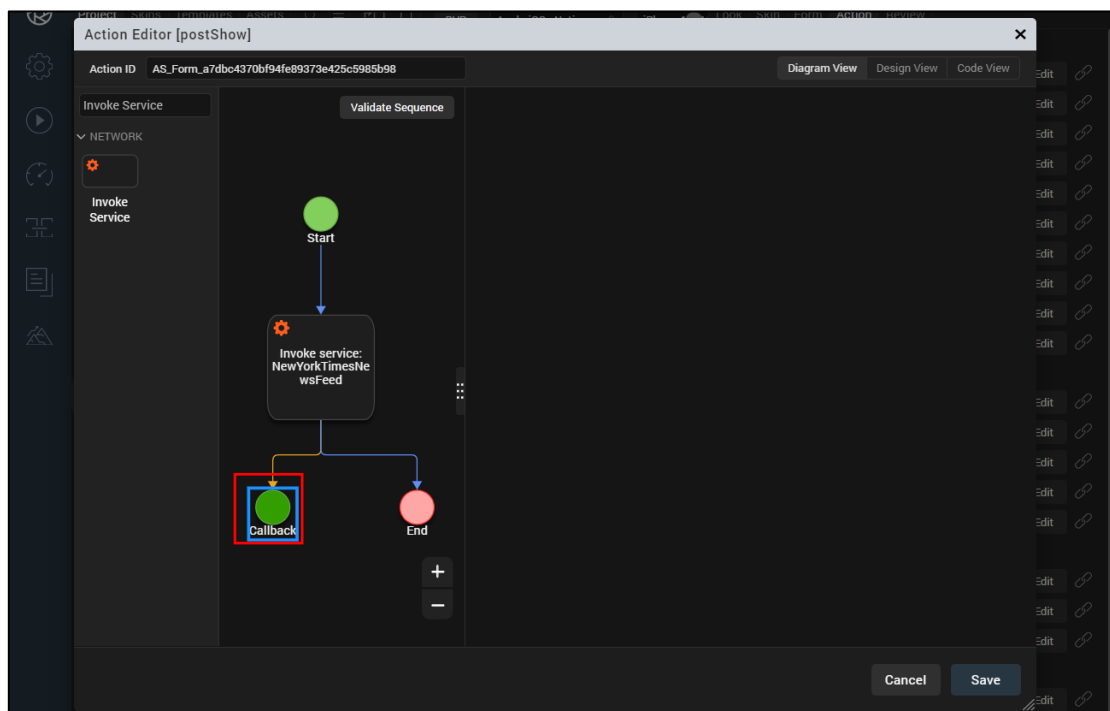


- World** と入力し、**Add Expression** ダイアログの外側の任意の場所をクリックします。**newsType** の左側に赤い点が表示され、式があることがわかります。

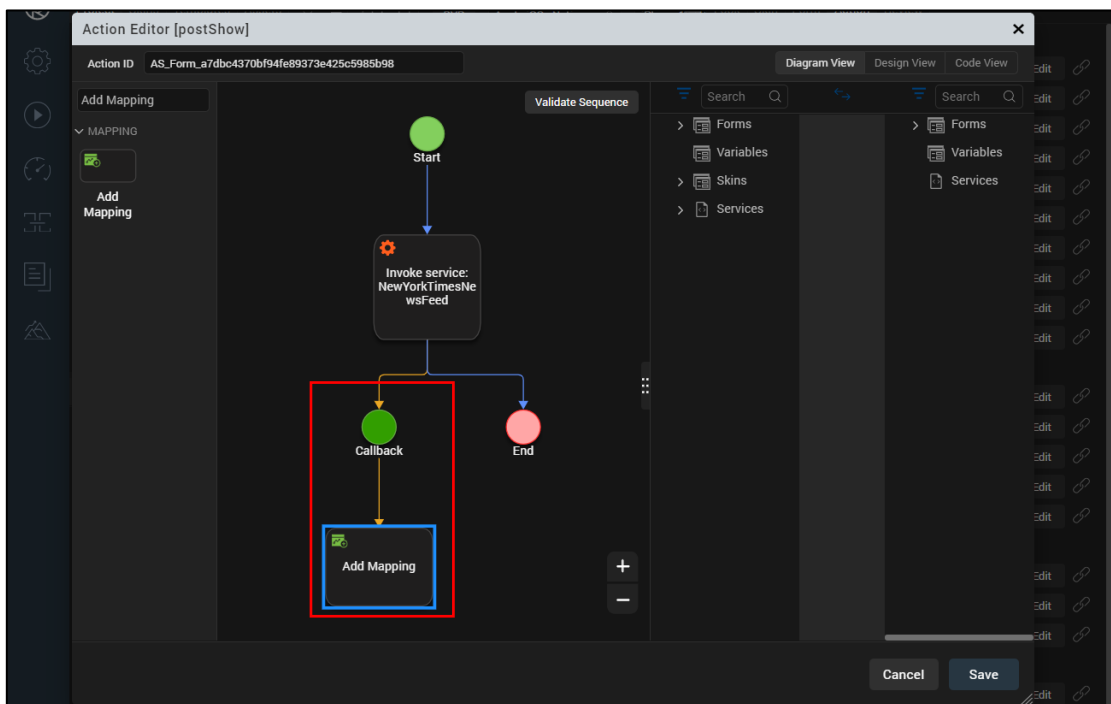
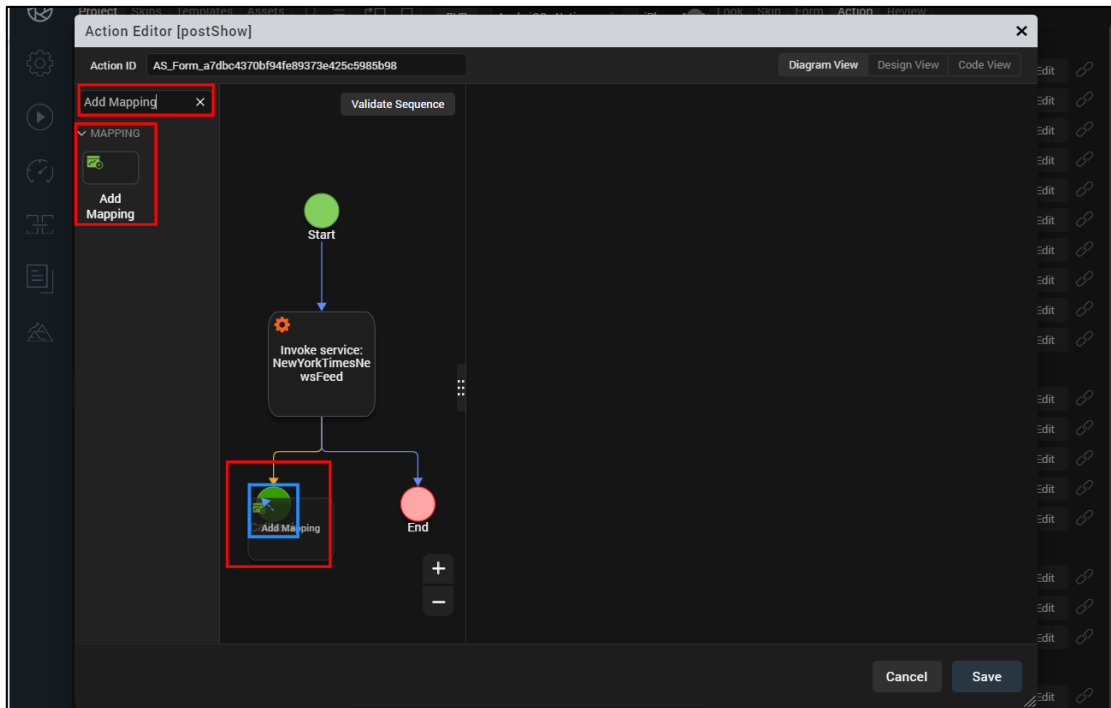




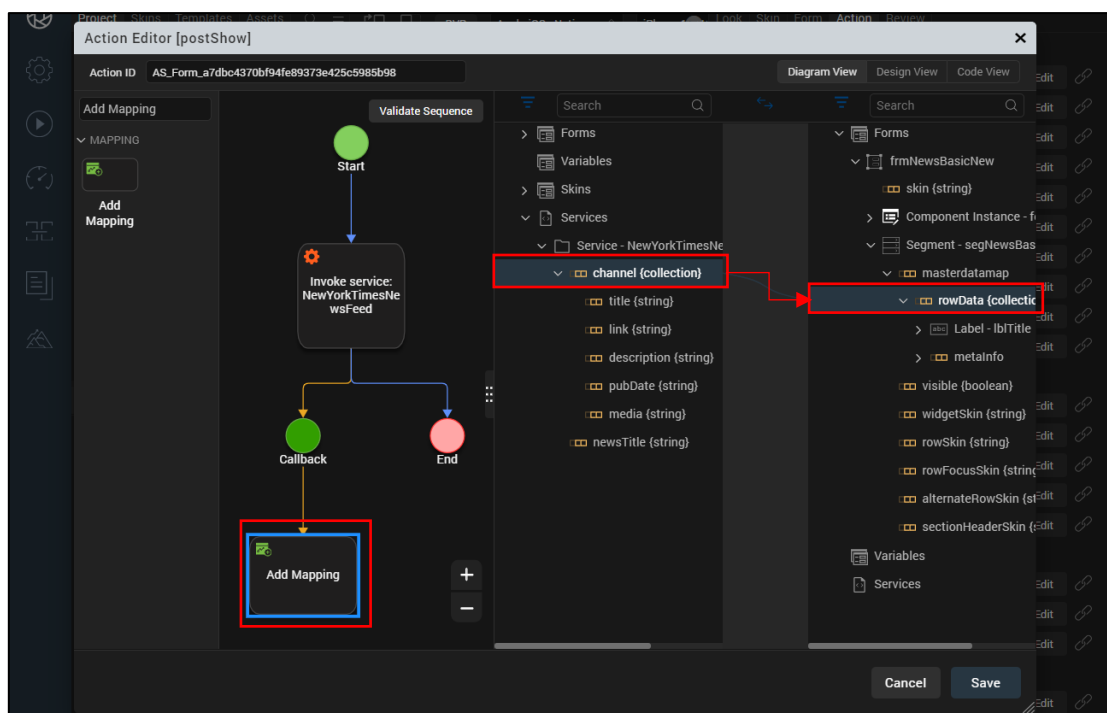
- アクションシーケンスで、**Callback**（緑色の丸）をクリックします。



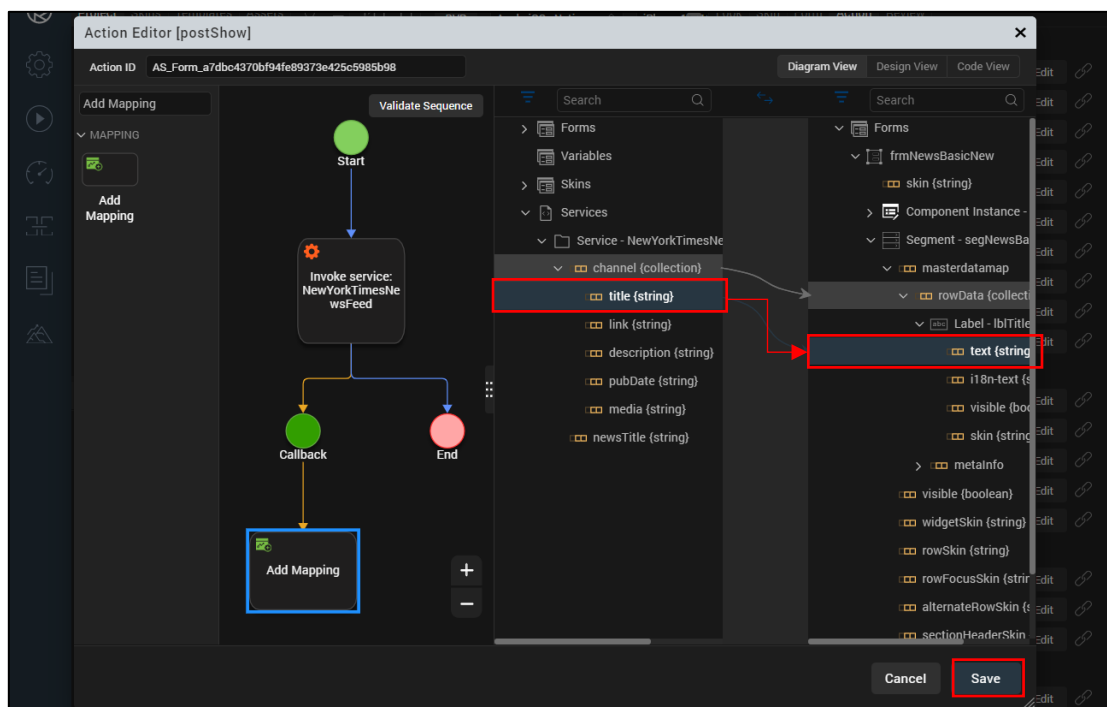
- **Add Mapping** アクションを検索します。**Add Mapping** アクションを **Callback** 上にドラッグします。



- Services > Service > NewYorkTimesNewsFeed\$getNews > channel に frmNewsBasicNew > segNewsBasic > masterdatamap > rowData へのマッピングを作成します。



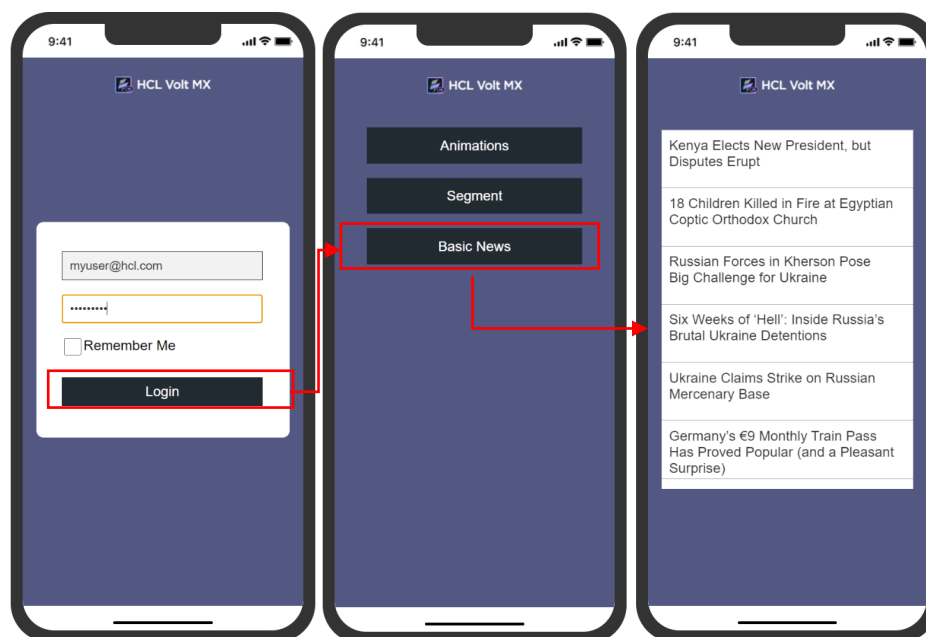
- Services > Service > NewYorkTimesNewsFeed\$getNews > channel > title から frmNewsBasicNew > segNewsBasic > masterdatamap > rowData > Label (lbITitle) > text にマッピングを作成します。
- Save をクリックし、アクションシーケンスを保存します。



- **Build > Run Live Preview** メニューでライブプレビュービルドを生成し、ニュース Integration サービスの起動をテストします。

- 注：ライブプレビューの設定で以前選択したチャンネル/プラットフォーム/アプリケーションの種類はそのまま引き継がれます。また、ライブプレビュービルドは、これらの選択されたチャンネル／プラットフォーム／アプリケーションの種類に対して生成されます。

- ニュース Integration サービスフローの起動をテストします。



注意事項

- アダプティブウェブライブプレビュービルドは、お使いのマシンで開く Volt MX アプリのプレビューを使用してテストします。
- ネイティブアプリのライブプレビュービルドは、Volt MX アプリのプレビューアプリを使用して、Wi-fi モードで、IP アドレスを入力するか、バーコードをスキャンしてテストします。
- なお、スマホが接続されているネットワークは、Volt MX Iris が動作しているマシンのネットワークと通信可能である必要があります。

おめでとうございます。このレッスンのハンズオンは終了です。